

STAGE+を楽しむ(62)(HP 収載)
—ドヴォルザークのチェロ協奏曲—

1. 始めに

前報(61)に引き続き、STAGE+のドヴォルザークのチェロ協奏曲他の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ドヴォルザークのチェロ協奏曲他というアルバムの演奏を選びました。

ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 他

キアン・ソルターニ (チェロ)

ダニエル・バレンボイム指揮シュターツカペレ・ベルリン

アントニン・ドヴォルザーク チェロ協奏曲 ロ短調 作品 104

アントニン・ドヴォルザーク 4つの歌 作品 82

第1曲: 私にかまわないで

アントニン・ドヴォルザーク 交響曲 第9番 ホ短調 作品 95 《新世界より》

第4楽章: ラルゴ 家路

アントニン・ドヴォルザーク ジプシーの歌 作品 55

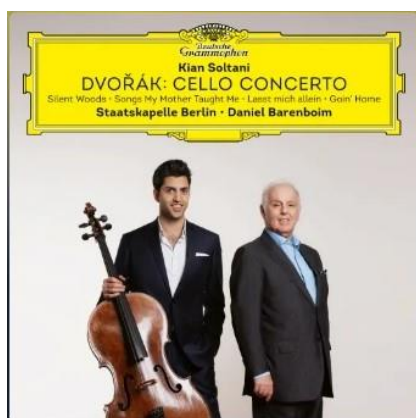
第4曲: 我が母の教え給いし歌

アントニン・ドヴォルザーク 4つのロマンティックな小品 作品 75

第1曲: Allegro moderato

アントニン・ドヴォルザーク ボヘミアの森より 作品 68

第5曲: 森の静けさ



3. 試聴の経過

チェロのキアン・ソルターニはオーストリア生まれの若手のチェリストで、その演奏を初めて聴きます。ドヴォルザークのチェロ協奏曲は、柔らかい音色で、胴鳴りもしっかり出ており、牧歌的な表情を伸び伸びと歌い上げています。バレンボイム指揮シュターツカペレ・ベルリンもオペラハウスのオーケストラらしく、重厚で厚みのある音で、これもよく歌っています。

残りの 5 曲は、いずれもドヴォルザークの小品で、歌曲などからチェロへの編曲です。

上記で《新世界より》第 4 楽章:ラルゴ家路とあるのは、第 2 楽章の間違いだと思われる、コールアングレのパートをチェロで演奏しています。いずれも、上記のチェロ協奏曲と同じく、よく歌う抒情性に富んだ演奏でした。

4. まとめ

以上の STAGE+配信は、追加の LAN iSilencer の効果も加わって、ソルターニのチェロの柔らかい音色やシュターツカペレ・ベルリンの重厚で厚みのある音で、抒情性にあふれた、歌うような演奏でした。

以上